

上天草市96万円、総務省分類による類似団体天草市が99万円、14市の中で平均である。

### 「地方財政健全化法について」

**問** 現在施行されている、地方財政健全化法に基づく宇城市の健全化判断比率の4つの指標とその数字の意味は。

**総務部長** 実質赤字比率、連結実質赤字比率については宇城市の場合は黒字であり、全く該当なし。実質公債費比率は早期健全化基準（黄色信号）では25.0に対し、宇城市は16.5。将来負担比率は350.0が黄信号に対して、宇城市の場合168.5である。  
**市長** 余力のない厳しい状況ではあるが健全経営と

### 岡本泰章 議員

**「財政問題について」**  
**問** 財政の今後の見通しと財政健全化の具体策について伺う。

**市長** 老人福祉法の規定で、行政として敬老思想の高揚に取り組むこととなっている。実施時期、方法、予算案を固め、6月議会に提出したいと思っている。  
**問** 『生活道路を優先した道路改修に取り組む』との点に関しては、市長との認識は同一である。しかし、250m足らずの距離に総額約9億5000万円かかる道路計画は、市長の財政に対する考えから、中止あるいは変更があつて然るべきと思うがどうか。  
**市長** 以前の計画を引き継いでおり、十分な判断はまだしていないし、結論は出してはいない。しかし着々と進んでいることは事実。



高齢者交流事業の1コマ

**問** 計画があるといつてそのまま進めるといふことは、各種施策と齟齬（そご）すると思う。もう一度、十分検討を願う。  
**「豊福南部農業集落排水事業について」**  
**問** 本PFI事業の優先交

て伺う。  
**市長** 財政計画は、地方交付税への一本算定への移行があるので10年長期計画として作成する。基本方針は活性化を念頭に置き、歳出改革を重点目標とし、直近の3か年については事業実施計画と整合性の取れた計画作成が必要と考えている。実質公債費比率、経常収支比率などの財政指標についても、要因が歳出過剰にあることから、歳出改革により改善される。具体策として、保育園のあり方、私立保育園と公立保育園の共存を考えているが、今後の財政の歳入歳出のバランスを見極め、状況によっては民営化も視野に入れ、市民議員の意見を聞いた上で判断したい。

**問** 自主財源の確保と企業誘致、誘致の条件を整えるインターチェンジ等について伺う。  
**市長** 世界的規模で景気後退が進む中、企業誘致については継続的な働きかけが必要と考えている。用地は、



仮に、ほ場整備地区を候補地とする場合は、面積的には十分だが、農地法等関係法令に基づく手続きが必要である。交通については、インターチェンジの存在は誘致企業にとつても選定要因の大きな要素である。小川のスマートインター建設は、宇城市南部方面の誘致活動と地域経済の活性化のため、重要課題として取り組む。  
スマートインター整備に関する制度改正を受けて、国土交通省、県、西日本高速道路(株)、県警などと計画申請に関する協議を行い、水川町との連名の上、西日本高速道路(株)に「九州自動車道小川BSスマートイン

### 石川洋一 議員

**「機構改革について」**  
**問** 支所機能を縮小し本庁に人員及び権限を集中する改革が進められてきたが、今後どのように進めていくのか。支所職員の減少した地域は産業活力が失われており、マスコミでも警鐘が鳴らされている。

**市長** 早急に検討委員会を立ち上げ、組織再編に向け、市民の声もお聞きしながら進めたい。  
**「安全対策について」**  
**問** 老朽化し落橋が危ぐされる戸馳大橋対策をどのように考えているのか。補強でも新橋と同じ強度耐力が得られると聞いている。

ターチェンジに関する実施計画書」を提出した。国土交通省の同意に向けて課題はあるが、宇城市と水川町の地域の活性化、振興発展に必要なインターチェンジであり、21年度中の着手に向け積極的に取り組む。  
**「奨学金制度について」**  
**問** 奨学金制度の充実、連帯保証人について伺う。  
**教育委員長** 借りやすい、利用しやすい制度にするため施行規則の見直しを図っていきたい。他市町の施行規則も参考に、連帯保証人は扶養者1人とし、あと1人は連帯を負わないところの保証人を付けるなどの改正を図る。来年度の奨学金貸付制度から実施できるように考えている。

**「学位取得について」**  
**市長** 私の座右の銘は、「初志貫徹」。政治哲学は、「市政の主人公は市民である」ということであり、極端なトップダウンより、市民の皆さんとともに知恵を出し合い、汗を流し合い、まちづくりを進めていくことである。  
**「のびのびおまニフェストについて」**  
**問** マニフェストとは、「はつきり示す」のイタリ語が語源とされ、選挙公約に数値目標や期限、財源を明示したものであるが、市長のマニフェストはそのどこを一切明示していない。市長自身マニフェストの意味を、どう解釈しているのか。  
**市長** 宣言・声明書の意味であり、個人または団体が方針や意図を多数者に向かつてはつきりと知らせること。また、そのための演説や文書と認識している。  
**問** 教育・子育て充実として「保育所は公立、私立の特長をいかした共存を目指す

### 徳永雄一 議員

**「所信表明を聞いて」**  
**問** 市長、座右の銘とする言葉は。また、市のトップリーダーとしての信念及び政治哲学を問う。

**市長** 概算では、補修補強10億円、補修補強と歩道橋20億円、架け替え30億円となっている。いずれにしても平成26年度までに終了せねばならず、早い時期に結論を出し、戸馳住民の期待に添えるよう努力する。  
**「地域経済について」**  
**問** 三角島原フェリーが廃止となり、国道57号線をつなぐ産業の結節が途絶え、観光のシンボルが消えたことを残念がる訴えが後を絶たない。三角島原フェリー再開に向けてどのような考えでいるのか。  
**市長** 三角港にはなくてはならないものと認識している。地域経済への波及効果を検証し、国や県と協議し助成制度を活用し、市の財政支出を検討して行きたい。

### 「サッカーアカデミーについて」

**問** 小川町益南広場に熊本宇城フットボールセンターが建設されている。同時にNPO法人スポーツアカ



完成した熊本宇城フットボールセンター(小川町)

デミー熊本宇城が寄宿舎を建設しているが、寄附金目標額1億5000万円に対し、半分しか寄附が集まっていないと聞いているが計画通り進んでいるのか。  
**企画部長** NPO法人と建吉組との間で支払期限の延長が合意されている。  
**問** 資金調達や事業計画全体の目論見が非常に甘かったと思う。フットボールセンターの事業についても「宇城市の一般財源は一切使わず起債償還についてはJFA助成金により償還する」として議会の承諾を得ているが、県からの指摘により、起債償還について